

検討の進め方

今後の検討の視点(案)

下水道事業の現状からみた課題

- 更新投資のピーク時対応
- 民間の技術・ノウハウを活用する新たな事業分野の開拓(資源有効利用等)
- 国際展開を視野に入れた国内事業
- 下水道事業債の総額増大の抑制
- 職員減少への対応 など

検討の視点

- 下水道施設の運営におけるPPP/PFIの活用は、現状、下水道管理者の判断として、限定的な活用にとどまっている(PFI事業7件など)。
- 今後、PPP/PFI導入による上記課題への対応が考えられるが、その際、PPP/PFI活用により、どのように課題が解決されるのか、解決されないのか、検討していく必要がある。
- 具体的には、多様な下水道施設、下水道管理者の経営状況の中で、PPP/PFIに全てがなじむのか、一定の分野がなじむのか等、その方向性を次の視点から検討し、実現支援の方策等を検討していく。
 - 下水道施設の視点
 - ・施設毎(管渠、処理場など)の民間の技術・ノウハウ・資金の活用余地、リスク管理・危機対応 など
 - 下水道管理者の状況の視点
 - ・経営状況、資産状況、人員体制、技術力の維持・確保、国際展開支援への意向 など
 - 事業者の参入意欲の視点
 - ・ファイナンス面での魅力・リスク、国際展開への意向 など

➡ 直営、委託、包括委託、PFI等の手法毎のメリット・デメリットを検討

今後のスケジュール(案)

(本日)

第1回

- ・下水道事業の現状
- ・PPP/PFIへの取組状況
- ・検討の進め方

2月予定

第2回: 地方公共団体・民間企業からの発表・ディスカッション① 第3回: 同②

地方公共団体・民間企業のPPP/PFIに関する意向・動向等について
発表とディスカッション

3月予定

第4回 中間整理

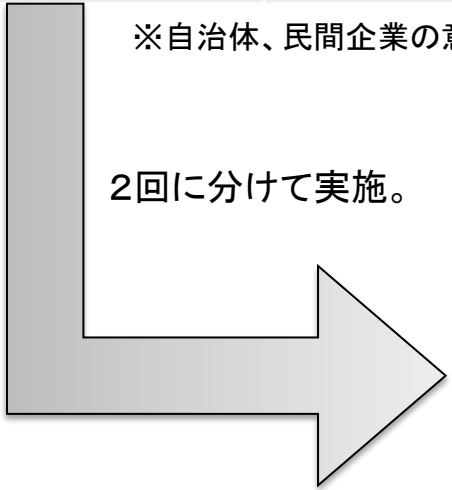
- ・発表・ディスカッション結果のとりまとめ
- ・次年度検討課題の整理

(H25年度予定)

- ・下水道運営においてPPP/PFIを活用する方向性の検討
 - ・PPP/PFI展開スキームの検討
 - ・海外事例把握調査 など
- 検討会報告書とりまとめ

分類	団体名	発表を依頼するテーマ(予定)
地方公共団体①	大阪市	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業の経営改革の目的について ・経営改革の具体的な手法について ・経営改革で実現したいと考える効果について
地方公共団体②	浜松市	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業の効率的経営に関する検討状況について ・流域下水道移管への対応方針について
地方公共団体③	(選定中)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道運営に関する課題について(経営、人員体制、資産管理等) ・PPP/PFIへの取組等について
地方公共団体④	(選定中)	
民間企業①	(選定中)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外におけるPPP/PFI事業への参画状況と課題について ・国内における新たなPPP/PFI事業への参画意欲、制度設計にあたっての要望事項等について
民間企業②	(選定中)	
民間企業③	(選定中)	
民間企業④	(選定中)	

※自治体、民間企業の意向もあるが、会議自体は非公開、資料、議事概要は公開との方向で調整。



日程1(2月中)	日程2(2月中)
自治体①	自治体②
自治体③	自治体④
民間①	民間②
民間③	民間④

各回計2時間予定
(委員からの質疑含め各30分予定)